

おばちゃんち



140-0001品川区北品川2-28-19 品川宿交流館3階 TEL03-3471-8610 E-mail:fureai@obachanchi.org http://obachanchi.org/ 発行：2018.01

であいつながりまなびあう

ふれあいの家-おばちゃんち 代表理事 幾島博子

2005年おばちゃんちが誕生して間もなくの頃、福祉医療機構の助成を受けて、「子育て・子育てにやさしいまちづくりネットワーク事業」を行いました。その報告書の巻頭に前代表理事の故渡辺美恵子はこんなことを書いています。

であいたい・・・

「子育て・子育てにやさしいまちづくりに参加してみたいけれど、ひとりではちょっと無理かも。どこへ、どのように出かけていったらそんなことを思っている人に出会えるのかしら」と考えている人がこの品川の町にもっといるはず。その人と出会えたら、おばちゃんちはきっと素敵な活動が展開できる。

まなびあいたい・・・

「子どもが好き」「今、子どもの育ちがあぶない！」と日々子どものことを考え、自分にできることはないかと考えている人がいる。そんな人が集まって、一緒に学ぶことで、智恵や勇気が湧きあがり、始めの一步の行動がうまれる。

つながりあいたい・・・

おばちゃんちを始めたら、品川の町で同じような思いで活動している方々にたくさん出会った。でも、いつも忙しくして、なかなかゆっくりお互いの活動を語り合う時間がない。そうだ、そんな時間を持ってみませんかとよびかけてみよう。

そんな思いで「みんなで子育て・子育てネットワーク会議（現子育て・子育てにやさしいまちづくりネットワークINしながわ〜略して子ネット）」が3回開かれたのです。以降2017年11月までに毎年春秋2回、通算24回子ネット会議は開かれ、これからも続けていきたいと思っています。参加団体は、当初20団体でしたが、ご縁ができた団体をお誘いしているうちに約60団体となり、小さな自主グループから大きな法人までが同じテーブルの席に着き、学びあい繋がりを深めてきました。そして困った時に得意な分野での力を貸し合い、助け合ったりし、協働事業や別のネットワーク団体がいくつも生まれたのです。

このことが、品川での子育て環境を豊かにする力になっていることは言うまでもありません。12年前に撒いた「であいつながりまなびあう」という種が芽を出し花を咲かせているのです。一種類の花ではなく、色とりどり大小さまざまな花をもっとも咲かせたいと思います。



「子育て・子育てにやさしいまちづくりネットワーク事業」報告集
2017.10-2018.03

会員情報 (11月末日現在)

正会員	39名
支援会員	364名
賛助会員	5名
計	408名

年会費・ご寄付は

郵便振替

00120-3-583720

NPO法人ふれあいの家-
おばちゃんち

ご寄付ありがとうございました (11月末日現在)

鈴木美紀子様、野呂一仁様、田代裕美様、山田巴様、島田都志子様、昭和通り商店会 田代敏郎様、関亜希子様、金井豊明様、鎌上茂樹様、中村日登美様、他匿名希望2名様 (順不同)

子育て交流ルーム「昭和通りおばちゃんち」

5周年

おめでとう

あずかり
な場

ふれあい
な場



「昭和通りおばちゃんち」が西中延の地に開所して、はや5年になりました。

2017年10月15日（日）に「5周年おめでとう」の会を開催しました。雨の中でしたが現在利用中の方をはじめ、しょうちゃんちに参加して



くれていた親子や以前利用されていた方々もたくさん来てくださり大盛況となりました。

久々に会った子どもたちの成長にまずビックリ。利用者さん同士も「大きくなったねー」とみんなで目を細めあっていました。赤ちゃんだった子どもたちがお話しができるようになり、幼稚園児だった子どもたちが小学生になり…懐かしいおもちゃを手にして、そばにいますお友だちと昨日も一緒だったような和やかさで過ごしました。また、参加してくれた皆さんにお祝いのメッセージを書いて壁に貼ってもらい、みんなで読み合いました。

手作りおもちゃコーナーでも力作が出来、見せあつてにっこり。



中盤、おばちゃんちに代々伝わる伝説の手作りケーキ（たべられません！）に5本のローソクを立て、みんなでハッピーバースディのうたを歌い、わっこの5才の誕生日を祝いました。カフェコーナーではおばちゃんの手作りのお菓子と飲み物をいただきながら壁に貼った懐かしい写真をみたり、思い出話に花を咲かせたりと楽しいひとときを過ごしました。



ほっぺやえくぼのおばちゃんもお祝いに駆けつけてくれ、とても和やかな温かい一日となりました。

これまで昭和通りおばちゃんちを支えてくださった昭和通り商店会やご近所の方々はじめ、利用して下さっているみなさまに心より感謝しています。これからも、困ったときはお互いさまの気持ちをこめて、楽しい場にしていきたいと思っています。よろしく願いいたします。

（こんちゃん）





1 第10回記念 テラン原画展

第10回 つたえる・つながる・めくりあうー子どもといっしょに広がる世界... 品川子育てメッセ2017 開催しました

2017.11.10

秋の青空が広がる2017年11月10日、第10回品川子育てメッセ2017がきゅりあんにて開催されました。今年も主に乳幼児ママで結成された実行委員会と品川区、ふれあいの家ーおばちゃんちの三者の共催で行われ、子育てに関わる方々に向けて役に立つ情報や、新たな出会いやきっかけを2800人もの方々にお届けできました。

1「わんぱくひろば」(7階)



テーマ『子育てのアレコレ分けあおう♪』は子育てで感じる嬉しいことやイライラも誰かと話したりして気持ちを分け合うことでスッキリしたり優しい気持ちになったり夕飯のおかずが一品増えたり自分の周りの世界がググッと明るく広がるのではないかと実行委員みんなで決めました。

ーふたごちゃんママのお手伝い



実行委員企画として「みんなで作ろうお出かけマップ」を掲示し、来場者からご近所のおすすめの場所やお店などをコメントとともに地図に書き込んでいただき素敵な地図ができました。

7階では赤ちゃん向けの「ねんねひろば」、歩き始めたぐらいのお子さん向けの「わんぱくひろば」、ごぞの上やテーブルで楽しくお食事ができる「もぐもぐひろば」、大きな紙での「おえかきひろば」

6階では助産師さんに相談や授乳服の試着ができる授乳室の「おっぱいミルクひろば」、子どもたちが思う存分体を動かせる「遊ビバ」

1階ではミニコンサートの「おとのひろば」

他にも、きぐるみキャラクターやクラウンも登場し、様々な講演会やワークショップ、読み聞かせなども行われ、子どもと一緒に楽しみながら会場を回り、出展団体と来場者の距離が近くなるように工夫しました。



1「おとのひろば」(1階小ホール)

また今年5月にできた、品川区で2つ目のプレパーク「しながわこども冒険ひろば」のスタッフによるリレートークも行われ、乳幼児向けの「はじめての外遊びのヒント」をお話いただき大変好評でした。



1 実行委員企画「冒険あそび場ってなあに？」

総勢60団体のみなさん、60名を超えるボランティアの皆さんからの積極的な協力によりほとんどが初実行委員だったにも関わらずその力に包み込まれるように一丸となり、来場者と共に楽しめる会場づくりができたのではないかと思います。



ー濱野区長と

品川子育てメッセは、今後も子育てに関わる方に寄り添いながら最新の情報提供や、新たな出会いのきっかけ作りになれたらと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

(品川子育てメッセ2017実行委員長 藤田砂織)



活動報告

子育てサポーター養成講座

【2017.05～10】

2017年9月に子育てサポーター養成講座が終了しました。この講座はおばちゃんちが主催、企画運営をしていて、5月から9月にかけて全10回の連続講座と夏の保育実習を行っています。2017年度は15人の受講生が、地域での子育てを応援する子育てのサポーターを目指して学び、無事全員が修了しました。

連続講座の第9回目にあたる公開講座では、臨床心理士でもある大河原美以先生(東京学芸大学教授)をお招きして、子どもの「いや」に困ったとき ～どうやってしつければいいの?～ というテーマで、脳の働きと絡めながら子どもの「いや」に対して具体的な解決方法をお話いただきました。受講者からは「これから保育をするうえでとても役に立つと思いました」「子どもの感情を認めてあげることの大切さがとてもよくわかりました」「脳の仕組みからのお話はとてもわかりやすく、勉強になりました」など様々な感想があり、子どもと向き合うという事について改めて考えさせられました。

そして修了生の中から、おばちゃんちの子育てサポーターとして新たに6人の仲間が増えました。これから一緒に「子育てにやさしいまちづくり」の輪を広げていけたらと思います。(みわ)



子どもの「いや」に困ったとき読む本

大河原美以：著、大和書房：刊
「ママがいい!」「ちがう!」「買って買って!」と大泣きやかんしゃく。子どものグズグズにはちゃんと理由があるのです。しつければ何か? ママたちの質問に答えながら、理論に基づいた具体的なしつけ方をアドバイス!

遊び途中の作品展 【2017.11.17～11.23】



このちょっとひしゃげた椅子。最初に作ったのは3年生のR君。でもすぐにつぶれてしまった。それを見つけ直したのはU君。でもすぐひっくり返る椅子。3本足だったから。それを4本足にしたのはS君。さらに足の間に木を打ち足をゆらゆらしないようにしたのはH君。

そしてまた壊れ、打ち捨てられていた椅子を見つけた子がまた直し、補強し。そしてまた壊れ、また直し。たくさんの月日。たくさん子どもたちの手でバトンのように引き継がれこんな姿になった。明日はまた違う姿になっているかもしれない。

遊びに完成はない。あるのはいつも途中だけ…まるで北浜こども冒険ひろばそのものである。(宮里)

子ども忍者は今日も行く 【2017.11.12】

修業を求め品川宿のそここに隠れている忍者を探す子どもたち。そして「そんな町がいいなあ…」と見守ってくれる大人たち。子どもにやさしいまちを作りたいと始めた忍者修業の旅も回を重ね、今では町のたくさんの人に応援の声をかけられる。私たちの修業の旅はまだまだ続く。(宮里)



北品川忍者軍団☆勢ぞろい



品川区子ども・若者計画(素案) 検討委員会に参加しています

[特別寄稿]

NPO法人教育サポートセンターNIRE
子ども若者応援ネットワーク 中塚史行

様々な問題に直面している子どもや若者たちに寄り添い、支えるNPO活動も10年を超え、品川区の支援もいただきながら「子ども若者応援フリースペース」という居場所を昨年度立ち上げました。そして今年2017年から、品川区が平成30年度からの実施を目指している「品川区子ども・若者計画」の検討委員会に参加させていただくこととなりました。

この計画は、「子ども・若者が社会的自立を目指し、すべての人と支え合い、ともに生きていくまち"しながわ"」を基本理念とし、0歳から39歳まで切れ目なく子ども・若者の成長や自立を支える制度をめざす計画です(場合によっては40代も対象)。とりわけ不登校、高校・大学中退、ニート、フリーター、ひきこもり、貧困の問題など、多様化する子ども・若者支援のニーズにどう応えるのか、さまざまな議論をおこないました。

計画では「自立とは何か」ということが大きな論点になりました。いま、何をもち「自立」というのか、とても見えない時代です。「親を乗り越えてほしい」という期待が子育てにはありますが、今の時代の若者は、年収でも学歴でも、親を越えることが大変難しくなっています。たとえ大学を卒業したとしても無業になるリスクが高く、具体的な自立イメージが持ちづらい、非常に厳しい社会に子どもや若者たちはさらされています。にもかかわらず、いまだに「親の育て方が悪い」「若者が甘えている」といったパッシングもまだまだ少なくありません。

検討委員会の中でも、「自立」をめぐる議論は紆余曲折ありましたが、「たとえどんな家庭環境であろうが、どんな特性を持っていようが、どこでつまそうが、品川で生まれた子どもや若者は、品川に住むみんなの力

で支え、育てていこう」という思いでは一致しています。

この計画作成にあたり、若者の実態調査がおこなわれましたが、その結果約1,500人の若者が区内でひきこもっている可能性があることがわかりました(平成29年2月「品川区ライフスタイルに関するアンケート調査」)。これだけの数の若者一人ひとりを掘り起こし、つながりと丁寧なサポートをおこなっていくのは大変ではありますが、知恵とネットワークを活かし、一人の若者も孤立させない地域づくりを進めていきたいです。

ぜひ多くの方にこの計画に関心をもっていただき、意見やアイデアを寄せてもらえればと思います。

「品川区子ども・若者計画(素案)」について

<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/page000032100/hpg000032086.htm>

「品川区ライフスタイルに関するアンケート調査」について

<https://gikai.city.shinagawa.tokyo.jp/wp-content/themes/shinagawakugikai/pdf/29051621.pdf>

子ども若者応援ネットワーク

https://peraichi.com/landing_pages/view/kodomowakamono
フリースペースの開催スケジュール等については、こちらのwebページをご覧ください。



(facebook)

みんなであつたかい ごはんをたべよう

2017年11月に品川区内の子ども食堂マップ[初版]が完成しました。事務局を担う品川ボランティアセンターの担当西宮さんと岡田所長にお話を伺いました。

これまでの経緯

品川区子ども家庭支援課と、区内で既に子ども食堂の活動を行っている方が相

談等をしていく中で、情報共有やネットワーク化が必要ではないかという声があった。2016年12月頃、家庭支援課から品川区社会福祉協議会へ打診があり、2017年4月より子ども食堂支援を担当することになった。社会福祉協議会は民間団体で、行政よりも柔軟な対応が可能。家庭支援課と共に基本構想を練り、2017年6月17日に「しながわ子ども食堂フォーラム」を行い問題提起と啓発、区民が主体のネットワーク組織を作ること、MAPを作ること等が決められた。

フォーラムの予想を超えた大反響に大変驚いた。その後、8月には「第1回しながわ子ども食堂ネットワーク会議」を行い、9月にネットワーク会議参加者の中か

ら運営委員会が発足、MAPづくりが具体的に始まった。家庭支援課としては子ども食堂活動への支援だけでなく、MAPを作るためにデータを集め、区内の空白地帯の洗い出しやそのあとの支援策を考える狙いがあったと聞く。

今後の展開について

近いうちにMAPの改定二版を発行、第2回ネットワーク会議の開催、また既存の子ども食堂活動への支援と、新規に始めたい方への情報提供や立ち上げ支援等を積極的に行っていきたい。

問合せ：品川区社会福祉協議会
品川ボランティアセンター
しながわ子ども食堂ネットワーク事務局
03-5718-7172

子どもの遊びに関わる大人って??



北浜子ども冒険ひろば
プレイワーカー 駒井雅子

これは私が落ち葉ベッドに寝転んだときに見えた風景。落ち葉ベッドを作った低学年女子が近くの大人を次々と寝転ぶようにご招待していた。



似顔絵描かれています

はじめまして。プレイワーカーのまちゃです。冒険遊び場/プレイパーク等と呼ばれる場所で働いています。プレイワーカーになって5年目です。ご縁があり、この春から北浜子ども冒険ひろばで週4日ほど働いています。北浜以外にも都内3カ所のプレイパークに関わっています。子どもの遊びに関わる大人って?子どもって?遊ぶって?を考えつづけながら、日々の実践を続けています。

プレイパークって?

プレイパークで働いていると、ココはどういう所ですか?と通りすがりの大人に聞かれたりします。そして、「子どもの遊ぶ場をやっています」などと説明していくうちに、かなりの確率で「ボランティアですか?...え、仕事なの!?!」なんてやり取りにもなります。

日本冒険あそび場づくり協会によると、冒険遊び場とは「子どもが「遊び」をつくる遊び場」であり、「自分の『やってみようと思うこと』を実現していく遊び場」「変化し続ける遊び場」と説明されています。「禁止するのではなく、いっしょに考えてやってみる」ことを大切にしている大人たちが冒険遊び場やプレイパークをつくり、支えています。冒険遊び場づくりという活動の中から、遊びを通して子どもに関わる専門職であるプレイワーカーという仕事も生まれました。

「遊ぶ」を学んだロンドンツアー

2017年2月に8泊6日でロンドンの「あそび」にまつわる場所を周るツアーに参加しました。私はこのツアーでイギリスでのプレイワークを学びました※。このツアーに参加する前、私にとって「プレイワーク」は雲をつかむような存在でした。ところが、イギリスの熟練プレイワーカーのジェスは私が日本で数年かけて経験したけどモヤモヤ、ふわふわしていた事柄を、言葉



ジェス。息子のジェイクもプレイワーカー。ジェイクが「自分とは離れて、子どもを考えると」言ったことも印象的。

で一挙に説明してくれました。「それ!カオスの端って表現すればわかりやすい」「あ、今の説明は去年◎xさんが言ったことと同じだ」なあって。

ロンドンで自分のなかのプレイワークへのもやもやがすっと整理されていく感覚を味わいました。おかげで、今では以前より「プレイワーク」と距離を縮められた気がしています。

ジェスは「STOP,LOOK,LISTEN,REACT=PLAYWORK!」大人はまず止まり、子どもの様子をよく見たり、聞いたりしてから反応



SLLRP!!の表紙

していくことがプレイワークだよ、と教えてくれました。初めて聞いた時は、短くまとまっており、覚えやすい!なんて思える余裕はありませんでしたが、今では時折思い出すフレーズのひとつです。

イギリスにはプレイワーカー達が作った「プレイワークの原則」なるものがありました。プレイワーカーのいう「遊ぶ」というこ

とも説明されています。

「遊ぶ」ということは、本人が自らの
動機で自由に選び、コントロール

するプロセスをさします。つまり、子どもと若者は、自らの本能やアイデア、興味に従い、自分なりの根拠と方法で、何をどのようにして遊ぶかを決定し、コントロールできるということです。(プレイウェルズ 訳 嶋村仁志) (強調は筆者による)

子どもの遊びに関わる大人って、【本人が自らの動機で自由に選び、コントロールするプロセス】を見守るためにも、STOP、LOOK、LISTEN、REACTを念頭に置き行動していくことなんだなあということ、私はロンドンで学びました。



プレイワークの原則8項目がイラストでまとめられていました。

子どもの「遊ぶ」をご紹介

T君(小5)とK君(小4)は電車が大好きです。台車を使っ



て、プレバ鉄道を開通しています。お手製の時刻表や停留所を作り、「14時から急行〇×トイレ前行き発車しまーす」「ねえ、のらないの？」なんていろんな人たちに声をかけています。時刻表を作る時の彼らは実に集中しており、声をかけにくいほどです。彼らの鉄道のクオリティは高く、こないだ乗車した時にはアナウンスに英語が混ざっていました。話しかけても運転中は応えてくれません。電車（台車）に乗りながら公園をグルグルしている自分の姿を冷静に思えば、自分でもなんかおかしいぞ？とは感じなくもありませんが…。それでも、彼らの「やってみたい！」「電車がすき！」のわくわくした気持ちに比べたら、まあ・大したことはないな、と思っ直します。

土エリアにて川やダムをつくる事が好きな男の子たちも居ます。この写真は一番最近のダムです。見てくださる壁面。もはや、素人の作業ではないと私はみています。だって、あっという間にこれを作ってしまうのです。普段から、土と水で遊んでいる時の彼らは水の動きをものすごく注意深く観察しつつ、いろいろな事を試しながら遊んでいます。



ダムから水を放流し、徐々に水が進んでいく様子をワクワクしながらじーっとみつめていたと思ったら、大きなカーブを勢いよく水が通る瞬間なんかは「おおおおお！」なんてワクワクが止まらない状態。そんな時、話しかけたとしても「今！いいところだからああああ！！！！」と、聞いてはもらえません。

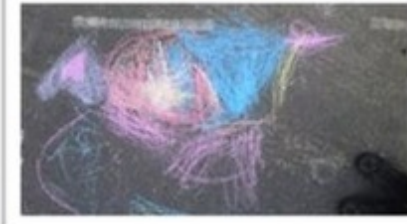
ちなみこ、写真のダムの先には歩道があるので、そこへ水がふれると通行人の方が歩きにくくなってしまいます。しかし、既に対策が立てられていました。歩道の手前に大きな深い穴が掘られており、「これで水がこぼれない！」と自慢げでした。でも、水の勢いの方が強く歩道へ水が流れそうになり、数人の男の子たちがあたらふたしてました。

…子ども達のおそびの様子を話したら、止まりません。

←これ、何やら時間をかけてちまちました作業をしていると思ったらなんだか嬉しそうに「いかに出来た！」と見せてくれたので、記念こつた写真。



これは、はじめは何して遊べばいいかわからずお父さんから離れなかった小さな男の子の遊びの一枚。→男の子はミニアヒルをあっちのバケツ、こっちのバケツと移動させることが楽しくなっていました。少ししてから男の子の方をみたら、なんと上手に全部を積んでいました。「全部のせられたの」と言わんばかりの嬉しそうなお顔を私に見せてくれました。



←これはイギリスツアーの時の女の子が書いていた「ママ」の絵。どの辺がママなのか私にはわからなかったのだけど、すごく一生懸命座り込んで書いていた姿を目撃しました。「ママ」の絵に間違いはないと思います。

ただの、すくー一生懸命座り込んで書いていた姿を目撃しました。「ママ」の絵に間違いはないと思います。

関わりの中で…

一般的にはプレイパークは外遊びをさせる場所、そしてプレイワーカーはその場を管理する人とイメージされているように感じます。たしかに、そのような管理的な要素が全くないわけではありません。でも、プレイワーカーは子どもの「遊ぶ」を管理・統制したり、「遊ぶ」というサービスを提供するための大人ではないと私は思っています。

大人からするとばかばかしかったり無駄に思えるような事でも、その子自身がワクワクしたり興味をもってたりちょっと試してみたいなあと思っていることならば、私はそれらすべてを「遊ぶ」姿としてとらえて尊重し、見守ってきたいです。もちろん、子ども達の成功や喜びの場面だけでなく、失敗の瞬間もあります。時に、それは嫌だなあとかヒヤッとする瞬間に立ち会うこともあります。



時には、私の背中もキャンパスになります。

それでも、私は毎日あそびを通して、子ども達なりのワクワクした発見・ドキドキの挑戦・ハラハラした試行錯誤を目撃・共有できるこの仕事がとても好きです。

※そもそもイギリスではプレイワーカーになるための資格が整えられ、プレイパークを大学でも学べる。ロンドンという都市を実際に見てまわり、ロンドンは東京とは違う子どもが育つ環境が整備されている都市のように見えた。ツアー中にお話をうかがったLONDONPLAYの方から、ロンドンの子どもは十分に遊べてはいないとの説明をうけたが、それでも「子どもが遊ぶ」ということが、ロンドンでは広く浸透しているように私には感じられた。

おばちゃんち かつどうよてい



おばちゃんちからのお知らせは、twitterやfacebookでもチェック！ <http://obachanchi.org>

ふれあい
広場

- 1.開催日：毎週月曜日
(祝日は休みます)
- 2.時間：11時から15時
- 3.参加費：1家族100円
親子でお出かけください！

みこちゃんち

会場：品川宿おばちゃんち
(北品川2-19-6)

しょうちゃんち

会場：昭和通りおばちゃんち
(西中延2-18-1)

しながわこども 冒険ひろば

- 1.開催日：月火水土日
(木・金休、祝日は閉園します)
- 2.時間：10時半から17時半
- 3.会場：しながわ区民公園・
しながわこども冒険ひろば
(勝島3-2-2)
- 4.参加費：無料

乳幼児親子ひろば そとぼ～よ！

毎週火曜日：10時半から14時
子どもたちに思いっきり外あそびを
楽しんでほしい！0歳からの初め
ての外あそびをサポートします！

北浜こども 冒険ひろば



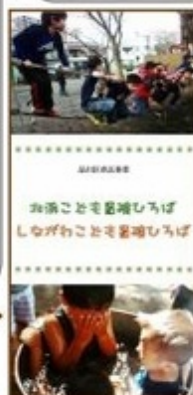
- 1.開催日：月火水木金土
(日・祝休)
- 2.時間：14時から18時
※第1・3水曜日は11時開演
- 3.会場：北浜公園・
北浜こども冒険ひろば
(北品川2-28)
- 4.参加費：無料

ほっと・サロン@八潮 にじっこ

- 1.開催日：祝日を除く毎週木曜日
- 2.時間：13時半から15時半
- 3.会場：こみやこていぷらざ八潮1F託児室
(八潮5-9-11)
- 4.参加費：1家族100円 (初回無料)

品川宿 忍者修業の旅

- 1.開催日：春・秋
- 2.時間：13時から15時半
- 3.会場：北品川商店街
周辺
- 4.参加費：無料
※2018年度の開催日については
webをご覧ください



冒険あそび場の新しいパンフレットが出来ました！→

あずかり
広場

サポーター派遣保育 自主サークルや団体が講座や講演会などを行っている間のグループ保育に、おばちゃんちの認定子育てサポーターを派遣します。活動の主旨などによりご利用条件が異なります。詳しくはお問い合わせ下さい。

子育て交流ルーム
「品川宿おばちゃんち」
tel.03-5463-6458
北品川2-19-6

子育て交流ルーム
「昭和通りおばちゃんち」
tel.03-5749-3212
西中延2-18-1

月曜から土曜までの、9時から17時まで(土曜は予約状況で変更することがあります)。おばちゃんち年会費2500円で両方の施設をご利用いただけます。4時間以内の基本保育料は品川区在住在勤の方は1時間500円(延長保育は1時間600円)になります。区外在住の方はご利用条件が異なります。詳しくはお問い合わせ下さい。



場所 荏原文化センター
開演 13:00～
参加費 一般1,500円/学生500円
中学生以下無料

問合せ asobifes@gmail.com
ふれあいの家-おばちゃんち
あそびうたフェスティバル公式webサイト
<https://asobiutafes.jimdo.com/>

共催 あそびうたフェスティバル実行委員会
ふれあいの家-おばちゃんち

後援 品川区



うたちゃん
おかないとよあき